

令和 8 年 度

事業計画及び収支予算書

自 令和 8 年 4 月 1 日

至 令和 9 年 3 月 3 1 日

一般財団法人 蔵王酪農センター

令和8年度事業計画

1. 情勢と方針

(1) 情勢

我が国を取り巻く環境は、デフレからインフレへの移行や円安に伴う生産コストの上昇基調、消費者の生活防衛意識の高まりなどから、厳しい情勢が続いている。

直近ではアメリカとイスラエルによるイラン攻撃により、世界情勢の不透明感が高まり、原油価格の高騰や低い食料自給率と物価上昇による消費の減退が懸念されている。

また、農業の現場では雨不足による農作物への影響が顕著であり、牧場の牧草地も雪不足の土壤凍結等により収量減となることが心配されており、気候変動による影響はその深刻性を増している。

酪農乳業界においても、コスト上昇と適切な価格形成実現の難しさから、収益性の悪化や人手不足により酪農家戸数は減少基調、脂肪と無脂乳固形需給の不均衡など様々な課題が山積している。クロスコンプライアンスや消費者理解を前提とする2026年4月施行の食料システム法により、サプライチェーンが適切に機能し価値創造の礎となることが期待されている。

(2) 方針

蔵王酪農センターは「信を万事の本と為す」を基本とし、コンプライアンスの遵守と安全・安心の確保を優先し、役職員が過去に囚われず新しい風を起こし続けることにより、社会価値と経済価値の両立を図っていく。予算遂行に向けては必要なアクションプランを作成し、その実行と検証を含めた進捗管理により、持続可能な経営基盤の再構築を目指していく。

主な事業では、農場事業は「ゲノム解析」による牛群改良に努めて4年目となり、その効果は乳用牛の頭数比率で25%程の進捗であり、牛舎環境改善(コンポストバーン維持管理)の取組効果により、疾病率は極端に減少し生産性向上が図られていることから、尚一層の収益改善に努めていく。TMRセンター事業においては飼料価格高騰対策として本年も6.5haの草地更新の実施とエコフィードの利活用を行い、飼料コストの低減に努めていく。

特に経営の支柱となるチーズ事業については、昨年から取り組んできた「ア

クシンプラン」に基づく新規取引先の開拓や既存取引先の深耕により、収益性と供給能力を踏まえた販売に努め確かな予算遂行を図っていく。

公益事業では「国産ナチュラルチーズ製造技術研修会」「国産ナチュラルチーズシンポジウム」「酪農研修」「手作り体験教室」「酪農ヘルパー技術者養成研修」の実施により、酪農の理解情勢とナチュラルチーズを中心とした牛乳・乳製品の普及・啓発と消費拡大に努めていく。

2. 重点実施事項

(1) 農場事業

ア. 酪農部門の収支改善

飼料高騰を踏まえ、搾乳頭数85頭前後を維持しながら生乳生産に取り組む目標として。

- ①1日1頭あたり平均乳量33kg（前年実績32.8kg）を目指す。
- ②分娩間隔の短縮、平均搾乳日数190日（前年実績193日）を目指す。
- ③飼料コスト削減を図り、乳飼比40%を目指す。
- ④コンポストバークの良好な状態を維持し、乳房炎感染牛の減少に取り組む。
- ⑤高能力乳用後継牛の繁殖体制を基本としつつ、副産物生産として乳用雄牛と交雑種の仔牛販売に取り組む。また、受精卵移植による和子牛生産の検討を行う。

イ. 自給飼料増産

昨年に続き、自作地約6.5haに採草時期に適した種子を選定した草地更新を行い、良質な自給飼料の増産に努め、飼料費の低減に取り組む。

ウ. 遺伝子検査の活用

搾乳牛の遺伝子検査とゲノム解析の効果が出始めていることから、高能力の牛には性判別精液の使用により、優良後継牛を確保し、長期的に搾乳牛群の生産性向上により経営改善を図る。

エ. 小水力発電及び地熱発電計画に協力

牧草地の一部に小水力発電の水管埋設工事と地熱発電調査工事の資材置き場として草地を利用したい要望がありこれに協力する。

(2) TMRセンター

ア. 発酵TMR（酪農用ニューチャージ）生産

輸入飼料の高騰によるコストアップを解消するために自給飼料と食品残差の利用による原価圧縮を行い、蔵王デーリーイーパイオニアセンター及び地域酪農

家への安定供給に努める。

年間3,114トンの供給を目指し、適正な価格設定と利益の確保に努める。

イ. ドライ TMR (大胃造) 生産

飼料の安定的な確保に努め、県内の畜産農家へ、年間570トンの供給を目指し、適正な価格設定と利益の確保に努める。

ウ. 製造設備の更新とメンテナンス

製造機械のミキサーとベーララッパーは通常、牧草等の収穫に使用するものでTMR生産の稼働時間が長いため更新時期が早いことからリース計画により更新し併せてTMRへの価格転嫁を検討実施する。

(3) 研修事業

ア. 酪農研修の実施

①自治体、乳業メーカー、生産者団体、大学・研究機関等を対象とした酪農研修を積極的に受入れ、酪農理解醸成を促進する。

②酪農ヘルパー全国協会が主催する「酪農ヘルパー専門技術員養成研修会」の実施に協力する。

③中央酪農会議が運営し東北生乳販売農業協同組合連合会から委託されている「地域交流牧場全国連絡会」と「酪農教育ファーム」の活動に引き続き参加する。

イ. ナチュラルチーズ製造技術研修会及びシンポジウムの開催等

国の「国産チーズ競争力強化支援対策事業」により、ナチュラルチーズ製造技術研修会(基礎コース・実践コース)及び国産ナチュラルチーズシンポジウムを引き続き開催する。

(4) チーズ事業

ア. 営業活動の強化

チーズ事業の年間売り上げ1,015,961千円(前年比105%)を目標とする。

一般市販商品については、チーズキャビンでの直売を最優先としつつ、量販店や地元生協などへの卸販売にも積極的に取り組む。また、閑散期対策として宮城県物産振興協会などと連携した各種催事の開催に積極的に取り組む。

業務用商品については、昨年度に宮城県の支援を受け出展した展示会で得られた商談を前に進め、新規顧客の獲得を図る。また、地元企業への貢献を意識した販路開拓に努めるとともに、既存取引先との関係を維持・強化する。

製造部・営業部の縦割りを排した柔軟な人員配置と綿密な情報交換によって生産性向上と販売ロス回避を図るとともに、商談資料や実績管理表の活用により営業力強化を図る。

イ、敷地内直営店舗の活性化（酪農普及事業を含む）

- ① 3年目の取組みとなる毎月第2土曜・日曜の「蔵王チーズデー」による情報発信と、各店舗における限定メニューやサービス提供を一層拡充し、年間を通じて大・小のイベント開催にも積極的に取り組み集客向上を図る。
- ② 商品知識、食品衛生、接客マナー等、職員の資質向上・生産性向上に関する研修を引き続き継続的に実施し、適正な人事考課により後継人材を育成しながら販売力の強化を図る。

ウ、新商品開発

- ① 一般市販商品として、消費者のニーズに応じたソフトチーズ及びハードチーズの商品開発に取り組む。また、主力商品であるクリームチーズ系商品のパッケージデザインを刷新して販売拡大に努める。
- ② 業務用商品として、ユーザーの用途に合わせた規格の商品開発に取り組む。
- ③ 蔵王チーズを利用した加工食品について、スイーツ商品の開発とリニューアルを進めるとともに、消費者のニーズに応じたおつまみ系の商品開発にも取り組む。
- ④ 国の研究機関、大学及び関係諸団体が実施する国産乳酸菌スターターの普及に協力し、これを活用した商品開発に取り組む。また、国の補助事業が終了した麴チーズの研究開発についても一層の品質向上に取り組む。
- ⑤ 宮城県食品産業協議会の加盟団体として、一般社団法人食のみやぎ応援団のパートナー企業として、その他宮城県内外の企業等と連携した商品開発に取り組む。

エ、殺菌乳事業・OEM事業

JA 全農の協力工場としての殺菌乳事業、中沢乳業(株)蔵王工場としてのOEM事業に引続き取組み、工場稼働率の安定的な向上を図る。

オ、SQF認証の推進

GFSI認証規格SQFについて、HACCPを基礎とする食品安全システムの構築と継続的な改善により認証を維持し、品質事故ゼロを期して殺菌乳事業に取り組む。また、SQFシステムを一層効果的なものにするため、教育訓練の充実による人材育成を推進し、全役職員への理解浸透を図る。

カ、経費削減

エネルギー価格の高騰に対応するため、省エネに関する行動計画を策定して燃料費、水道光熱費の節減に努めるとともに、消耗品費、雑費も含めた費用の2.5%削減を目標とする。

(5) 酪農普及事業

ア、蔵王ハートランドの運営合理化

ハートランド体験館は飲食及び体験の拡充や情報発信の強化、宮城オルレ蔵王・遠刈田温泉コースの開設に伴う集客向上を図り、酪農普及年間売上げ97,128千円（前年比101%）を目標とする。インターネット販売に関しては課題解決を進めながらECサイトのさらなる充実を図る。その他の店舗は前年度に引続き、ウインドスクエアは地元事業者へ施設を貸与する貸店舗営業、ウインドデッキは団体予約限定営業とするなど、繁閑に応じた営業方式として効率的な運営体制を整備する。

イ. 情報発信の強化

公式 Instagram、公式 LINE 等の SNS を積極的に活用して財団の事業取り組みと商品及びサービスの PR と情報発信に努めるとともに、既存メディア等に対しても能動的に話題を提供して露出の機会を増やし、認知度向上を図る。

ウ. 自家製乳製品及び地場農産物の普及拡大

チーズシェッドをはじめ飲食店舗において、蔵王チーズを利用した新メニュー及びサービスの積極的な提案によって集客と売上げの向上を図る。また、地域の生産者との連携を深め、「蔵王町産はるか・いちじく」をはじめ地場農産物を積極的に利用して地域性のある商品・メニューの提供に努め、地産地消により地域農業の振興を図る。

エ. 体験学習・各種研修等の受入れ推進

一般消費者の酪農への理解醸成、国産チーズ普及などを目的とした体験学習の受入れを積極的に推進する。また、蔵王ジオパーク推進協議会とのパートナーシップ協定に基づくジオパーク認定商品の開発及びジオツアー等のイベント協力、宮城オルレ蔵王・遠刈田温泉コースへの誘客強化など、地域への貢献活動と併せた集客向上を図る。

オ. 飲食店向け HACCP 制度化対応

チーズキャビン・チーズハウス・チーズシェッド・蔵王高原荘・ハートランド体験館の5店舗について、日本食品衛生協会が推奨する「食の安心・安全・五つ星事業」の登録店舗として HACCP の考え方を取り入れた衛生管理を引き続き推進する。

(6) 本部

ア. 財団の将来像の策定と収益構造改善に向けた取り組みの継続

収益構造改善に向けた課題と解決策検討の取り組みを引き続き進める。具体的なアクションプランを作成し各部門の課題解決を図る。

イ. 人事制度の改定と規定の見直し

労働に対する価値観の多様化や働き方改革が進む中、社会状況に呼応した人事制度の見直しを図る。同時に各規程も見直しアップデートを進める。

ウ. 継続的な職員研修の実施

人材の確保と育成を図るため、研修の充実を図る。経営職、管理職を含めた各種研修の年間計画を策定し、年間を通して継続的に実施する。

エ. 福利厚生 of 充実

職員の作業環境と福利厚生 of 向上に取り組み、労働意欲 of 向上を図る。個々の職員の就労意欲 of 向上を通じて離職者の減少に取り組む。

オ. 危機管理

地震、火災、感染症拡大などに対し迅速かつ的確な対応を図るため、日常の点検と定期的な訓練を実施する。また、緊急事態に備え、事業継続計画書に沿ってサイバーセキュリティ対策を含めた危機管理対策を強化し、電子データ他、財産の保全に努める。

3. リース計画

固定資産取得リース計画

(単位:円)

部 門	種 類	内 容	物件価格	備 考
TMRセンター	機械装置	ミキサー更新	18,820,000	更新
計			18,820,000	

4. 要員計画

(単位:人)

部 門 別	令和8年			増 減						令和9年			備 考
	3月末現在			増 加			減 少			3月末見込			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
農 場	4	1	5			0			0	4	1	5	
キャトルセンター	0	0	0			0			0	0	0	0	
TMRセンター	2	0	2			0			0	2	0	2	
研 修 所	0	1	1			0			0	0	1	1	
販 売	4	4	8		1	1			0	4	5	9	1名職員登用
工 場	13	6	19	1		1			0	14	6	20	1名採用
普 及	0	7	7			0			0	0	7	7	
管 理	4	0	4			0			0	4	0	4	
本 部	1	0	1			0			0	1	0	1	理事兼務職員
正規職員計	28	19	47	1	1	2	0	0	0	29	20	49	2名増
非正規職員	5	7	12		1	1	1	1	2	4	7	11	1名増、2名減
合 計	33	26	59	1	2	3	1	1	2	33	27	60	

5. 資金計画

既往借入金の償還計画

(単位:千円)

区分	部 門	借 入 先	令和8年3月末 残高	令和8年度 償還額	令和9年3月末 残高	備 考
長期	農場	農林中央金庫	178,847	14,904	163,943	15年償還
長期	チーズ	日本政策金融公庫	165,066	27,512	137,554	7年償還
長期	チーズ	日本政策金融公庫	212,500	12,500	200,000	20年償還
長期	本部	日本政策金融公庫	187,499	16,668	170,831	15年償還
	計		743,912	71,584	672,328	

収 支 予 算 書 (案)

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	摘 要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	20	20	0	
基本財産運用収入計	20	20	0	
(2) 会費収入				
賛助会費収入	1,990	1,990	0	
会費収入計	1,990	1,990	0	
(3) 事業収入				
① 農場事業収入				
生乳普及収入	134,436	125,781	8,655	
素牛収入	4,315	2,190	2,125	
小計	138,751	127,971	10,780	
② 研修所事業収入				
宿泊料収入	4,441	3,449	992	
食堂収入	2,878	2,241	637	
売店収入	411	193	218	
施設利用料収入	493	96	397	
小計	8,223	5,979	2,244	
③ チーズ事業収入				
チーズ普及収入	404,554	404,773	-219	
チーズギフト収入	47,849	45,000	2,849	
バター普及収入	19,199	22,243	-3,044	
ドリンク普及収入	21,600	21,024	576	
アイス普及収入	22,098	19,020	3,078	
牛乳普及収入	345	390	-45	
フレッシュホエイ普及収入	1,815	1,800	15	
生クリーム普及収入	10,025	8,810	1,215	
ヨーグルト普及収入	9,258	10,636	-1,378	
殺菌乳供給収入	220,246	258,501	-38,255	
脱脂乳供給収入	19,776	18,816	960	
キャビン売店収入	105,130	85,500	19,630	
チーズハウス飲食収入	20,000	16,600	3,400	
パン・ケーキ工房収入	9,264	8,700	564	
業務用加工品収入	100,284	103,670	-3,386	
その他収入	4,518	4,800	-282	
小計	1,015,961	1,030,283	-14,322	
④ 酪農普及事業				
体験館売店収入	24,500	25,000	-500	
オンライン販売収入	20,400	21,400	-1,000	
スクエア飲食収入	0	0	0	
デッキ飲食収入	3,800	4,000	-200	
シェッド飲食収入	43,297	40,545	2,752	
体験料収入	6,800	7,211	-411	
小計	98,797	98,156	641	
④ キャトルセンター事業				
和牛販売収入	0	0	0	
交雑種販売収入	0	0	0	
預託料収入	0	0	0	
小計	0	0	0	
⑤ TMRセンター事業				
飼料販売収入	206,268	193,236	13,032	
小計	206,268	193,236	13,032	
事業収入計	1,468,000	1,455,625	12,375	
(4) 補助金収入				
国庫補助金収入	0	0	0	
地方公共団体補助金収入	0	0	0	
その他補助金収入	5,988	8,582	-2,594	
補助金収入計	5,988	8,582	-2,594	
(5) 雑収入				
受取利息配当金収入	9	9	0	
雑収入	32,200	28,868	3,332	
雑収入計	32,209	28,877	3,332	
事業活動収入計	1,508,207	1,495,094	13,113	

(単位:千円)

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	摘 要
2.事業活動支出				
(1)事業費支出				
①農場事業飼育原価				
飼料費支出				
購入飼料費支出	60,053	62,015	-1,962	
肥料・種苗費支出	1,855	0	1,855	
小計	61,908	62,015	-107	
農場経費支出				
電力料支出	4,698	5,024	-326	
燃料費支出	654	561	93	
諸材料費支出	6,510	4,156	2,354	
修繕費支出	1,200	803	397	
農場雑費支出	22,750	16,827	5,923	
リース料支出	5,580	5,716	-136	
育成牛預託費	0	0	0	
小計	41,392	33,087	8,305	
労務費支出				
給料手当支出	20,117	15,971	4,146	
パート賃金支出	0	0	0	
法定福利費支出	3,046	2,435	611	
厚生費支出	300	240	60	
退職共済掛金支出	600	480	120	
小計	24,063	19,126	4,937	
農場事業費支出計	127,363	114,228	13,135	
②研修所事業費支出				
食堂材料費支出				
食堂材料費支出	892	838	54	
売店仕入支出	164	155	9	
小計	1,056	993	63	
事業経費支出				
電力料支出	1,516	1,513	3	
燃料費支出	1,560	1,126	434	
クリーニング料支出	166	108	58	
雑費用支出	793	592	201	
小計	4,035	3,339	696	
労務費支出				
給料手当支出	3,481	3,368	113	
パート賃金支出	600	600	0	
法定福利費支出	529	507	22	
厚生費支出	60	60	0	
退職共済掛金支出	120	60	60	
小計	4,790	4,595	195	
研修所事業費支出計	9,881	8,927	954	
③チーズ事業原価支出				
原材料費支出				
チーズ等原材料費支出	254,991	250,364	4,627	
殺菌乳原材料支出	177,942	213,868	-35,926	
脱脂乳原材料支出	15,360	15,360	0	
包材費支出	37,161	34,885	2,276	
小計	485,454	514,477	-29,023	
工場経費支出				
電力料支出	37,604	39,365	-1,761	
燃料費支出	20,226	19,292	934	
リース料支出	7,201	3,698	3,503	
修繕費支出	12,000	12,000	0	
工場雑費支出	30,160	27,035	3,125	
小計	107,191	101,390	5,801	
労務費支出				
給料手当支出	76,449	67,560	8,889	
パート賃金支出	7,950	7,950	0	
法定福利費支出	12,720	11,391	1,329	
厚生費支出	1,200	1,080	120	

(単位:千円)

科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	摘 要
退職共済掛金支出	1,344	1,344	0	
小計	99,663	89,325	10,338	
工場事業管理費支出	8,118	9,351	-1,233	
工場事業費支出計	700,426	714,543	-14,117	
キャビン費用支出	80,824	67,541	13,283	
チーズハウス費用支出	8,394	6,634	1,760	
パン工房費用支出	2,937	3,228	-291	
店舗費用計	92,155	77,403	14,752	
労務費支出				
給料手当支出	38,022	38,050	-28	
パート賃金支出	11,979	12,147	-168	
法定福利費支出	7,027	7,245	-218	
厚生費支出	570	600	-30	
退職共済掛金支出	888	888	0	
小計	58,486	58,930	-444	
チーズ事業費支出計	851,067	850,876	191	
④酪農普及事業費支出				
原材料費支出				
スクエア材料費支出	0	0	0	
スクエア仕入費支出	0	0	0	
デッキ材料費支出	1,178	1,240	-62	
シェッド材料費支出	12,556	12,260	296	
シェッド仕入費支出	1,299	1,664	-365	
体験館材料費支出	680	1,100	-420	
体験館仕入費支出	15,925	16,606	-681	
オンライン仕入費支出	5,950	4,950	1,000	
小計	37,588	37,820	-232	
事業経費支出				
オンライン経費支出	2,054	1,935	119	
スクエア経費支出	0	0	0	
デッキ経費支出	546	423	123	
シェッド経費支出	1,107	1,312	-205	
体験館経費支出	5,947	4,688	1,259	
小計	9,654	8,358	1,296	
労務費支出				
給料手当支出	22,669	20,135	2,534	
パート賃金支出	5,532	10,734	-5,202	
法定福利費支出	4,095	4,386	-291	
厚生費支出	390	360	30	
退職共済掛金支出	480	480	0	
小計	33,166	36,095	-2,929	
酪農普及事業費支出計	80,408	82,273	-1,865	
⑤キャトルセンター事業費支出				
飼料費支出				
預託牛飼料費支出	0	0	0	
和牛飼料費支出	0	0	0	
交雑種飼料費支出	0	0	0	
肥料・種苗費支出	0	0	0	
小計	0	0	0	
キャトルセンター経費支出				
業務委託費支出	0	0	0	
薬品衛生費支出	0	0	0	
受精卵費支出	0	0	0	
精液費支出	0	0	0	
電力料支出	0	0	0	
燃料費支出	0	0	0	
諸材料費支出	0	0	0	
修繕費支出	0	0	0	
センター雑費支出	0	0	0	
小計	0	0	0	

(単位:千円)

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	摘 要
労務費支出				
給料手当支出	0	0	0	
パート賃金支出	0	0	0	
法定福利費支出	0	0	0	
厚生費支出	0	0	0	
退職共済掛金支出	0	0	0	
小計	0	0	0	
キャトルセンター事業費支出計	0	0	0	
⑥TMRセンター事業費支出				
飼料費支出				
飼料原材料費支出	155,088	144,900	10,188	
小計	155,088	144,900	10,188	
TMRセンター経費支出				
電力料支出	1,880	1,780	100	
燃料費支出	523	544	-21	
諸材料費支出	3,920	4,409	-489	
修繕費支出	2,400	1,525	875	
センター雑費支出	1,200	1,085	115	
リース料支出	7,040	4,080	2,960	
小計	16,963	13,423	3,540	
労務費支出				
給料手当支出	7,155	10,485	-3,330	
パート賃金支出	2,753	2,753	0	
法定福利費支出	1,497	1,974	-477	
厚生費支出	120	180	-60	
退職共済掛金支出	96	96	0	
小計	11,621	15,488	-3,867	
TMRセンター事業費支出計	183,672	173,811	9,861	
事業費支出計	1,252,391	1,230,115	22,276	
(2)推進費管理費支出				
①事業推進費支出				
農場事業推進費支出	14,250	12,704	1,546	
チーズ事業推進費				
チーズ輸送費支出	16,708	18,890	-2,182	
普及推進費支出	1,200	450	750	
サンプル費支出	1,311	4,290	-2,979	
支払手数料支出	3,781	3,094	687	
開発研究費支出	0	600	-600	
推進雑費支出	14,957	13,249	1,708	
小計	37,957	40,573	-2,616	
キャトルセンター事業推進費支出	0	0	0	
TMRセンター事業推進費支出	0	0	0	
事業推進費支出計	52,207	53,277	-1,070	
②管理費支出				
人件費支出				
役員報酬支出	24,336	25,536	-1,200	
給与手当支出	20,215	18,963	1,252	
パート賃金支出	6,177	7,192	-1,015	
法定福利費支出	7,592	7,732	-140	
厚生費支出	480	480	0	
退職共済掛金支出	528	528	0	
小計	59,328	60,431	-1,103	
業務費支出				
旅費交通費支出	5,040	4,547	493	
通信費支出	3,045	3,348	-303	
事務費支出	803	854	-51	
消耗品費支出	2,047	1,664	383	
図書費支出	191	277	-86	
研修費支出	3	0	3	
小計	11,129	10,690	439	
諸税負担金支出				
租税公課支出	3,703	4,749	-1,046	
諸負担金支出	0	0	0	
小計	3,703	4,749	-1,046	

(単位:千円)

科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	摘 要
施設費支出				
保険料支出	5,781	6,179	-398	
水道光熱費支出	11,662	10,926	736	
車両費支出	9,979	9,151	828	
修繕費支出	820	239	581	
消耗備品費支出	604	242	362	
施設管理費支出	12,566	11,454	1,112	
賃借料支出	9,667	12,832	-3,165	
小計	51,079	51,023	56	
雑費支出	11,424	10,774	650	
支払利息支出	1,849	1,762	87	
雑支出	0	0	0	
管理費支出計	138,512	139,429	-917	
推進費管理費支出計	190,719	192,706	-1,987	
(3)特別事業費支出				
補助事業費支出	4,000	4,000	0	
その他支出	0	0	0	
特別事業費支出計	4,000	4,000	0	
事業活動支出計	1,447,110	1,426,821	20,289	
事業活動収支差額	61,097	68,273	-7,176	
II 投資活動収支の部				
1.投資活動収入	0	0	0	
2.投資活動支出				
(1)特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	0	0	0	
特定資産取得支出計	0	0	0	
(2)固定資産取得支出				
建物建設支出	0	0	0	
建物付帯設備支出	0	0	0	
構築物購入支出	0	0	0	
機械装置購入支出	0	6,140	-6,140	
器具備品購入支出	0	0	0	
車輛購入支出	0	0	0	
固定資産取得支出計	0	6,140	-6,140	
(3)その他支出				
建物共済積立金支出	1,500	1,500	0	
保険料積立金支出	1,800	1,800	0	
その他支出計	3,300	3,300	0	
投資活動支出計	3,300	9,440	-6,140	
投資活動収支差額	-3,300	-9,440	6,140	
III 財務活動収支の部				
1.財務活動収入				
(1)借入金収入				
長期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2.財務活動支出				
(1)借入金返済支出				
長期借入金返済支出	71,584	57,597	13,987	
借入金返済支出計	71,584	57,597	13,987	
財務活動支出計	71,584	57,597	13,987	
財務活動収支差額	-71,584	-57,597	-13,987	
予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	-13,787	1,236	-15,023	
前期繰越収支差額	96,640	125,000	-28,360	
次期繰越収支差額	82,853	126,236	-43,383	

収支予算書の事業別区分経理の内訳表(損益ベース)
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	実施事業等会計				その他会計				法人会計	内部取引控除	合計
	継1	継2	継3	小計	他1	他2	他3	小計			
	農場事業	研修所事業	酪農普及事業		シーズ事業	キョレセンカ-事業	TMRセンカ-事業				
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益									20	0	20
基本財産利息収入									20	0	20
受取会費									1,990	0	1,990
賛助会費収入									1,990	0	1,990
事業収益	138,751	8,223	98,797	245,771	1,015,961	0	206,268	1,222,229	0	0	1,468,000
牛乳普及収入	134,436			134,436							134,436
素牛収入	4,315			4,315							4,315
肉用牛収入				0							0
宿泊料収入		4,441		4,441							4,441
食堂収入		2,878		2,878							2,878
売店収入		411		411							411
施設使用料収入		493		493							493
体験館収入			24,500	24,500							24,500
オンライン販売収入			20,400	20,400							20,400
スクエア-飲食収入			0	0							0
デッキ飲食収入			3,800	3,800							3,800
シエット飲食収入			43,297	43,297							43,297
体験収入			6,800	6,800							6,800
チーズ普及収入					452,403			452,403			452,403
その他乳製品等収入					563,558			563,558			563,558
和牛販売収入								0			0
交雑種販売収入								0			0
乳牛販売収入								0			0
預託料収入								0			0
飼料販売収入							206,268	206,268			206,268
受取補助金等	988			988	5,000	0		5,000			5,988
雑収益	23,400	0	400	23,800	7,200	0	0	7,200	1,209	0	32,209
雑収入	23,400	0	400	23,800	7,200	0	0	7,200	1,209	0	32,209
経常収益計	163,139	8,223	99,197	270,559	1,028,161	0	206,268	1,234,429	3,219	0	1,508,207

(単位:千円)

科 目	実施事業等会計				その他会計				法人会計	内部取引控除	合計	
	継1	継2	継3	小計	他1	他2	他3	小計				
	農林事業	研修所事業	酪農普及事業		チーム事業	キャトルセンター事業	TMRセンター事業					
(2) 経常費用												
事業費	168,196	13,085	89,360	270,641	948,739	0	187,890	1,136,629	0	0	1,407,270	
事業費用	61,908	1,057	37,588	100,553	577,611	0	155,088	732,699			883,252	
事業経費	41,392	4,035	9,654	55,081	107,191	0	16,962	124,153			179,234	
事業推進費	14,250	0	0	14,250	37,956	0	0	37,956			52,206	
労務費	24,063	4,790	33,166	62,019	158,149	0	11,621	169,770	0	0	231,789	
給料手当	20,117	3,481	22,669	46,267	114,471	0	7,155	121,626			167,893	
パト賃金	0	600	5,532	6,132	19,929	0	2,753	22,682			28,814	
福利厚生費	3,046	529	4,095	7,670	19,747	0	1,497	21,244			28,914	
厚生費	300	60	390	750	1,770	0	120	1,890			2,640	
退職給付費用	600	120	480	1,200	2,232	0	96	2,328			3,528	
業務費	447	313	389	1,149	8,891	0	53	8,944	0	0	10,093	
旅費交通費	0	0	6	6	3,273	0	3	3,276			3,282	
通信費	230	181	370	781	2,269	0	0	2,269			3,050	
事務費	12	0	13	25	486	0	24	510			585	
消耗品費	120	132	0	252	2,743	0	26	2,769			3,021	
図書費	85	0	0	85	120	0	0	120			205	
諸税負担金	2,195	124	520	2,839	2,135	0	8	2,143	0	0	4,982	
租税公課	2,195	124	520	2,839	2,135	0	8	2,143			4,982	
諸負担金	0	0	0	0	0	0	0	0			0	
施設費	11,964	2,353	6,834	21,151	23,962	0	4,078	28,040	0	0	49,191	
保険料	3,233	161	669	4,063	2,410	0	0	2,410			6,473	
水道光熱費	444	843	3,791	5,078	6,711	0	94	6,805			11,883	
車両費	6,386	0	0	6,386	2,183	0	0	2,183			8,569	
修繕費	0	120	700	820	0	0	0	0			820	
消耗備品費	0	38	9	47	61	0	525	586			633	
施設管理費	1,901	1,001	1,623	4,525	10,197	0	729	10,926			15,451	
賃借料	0	190	42	232	2,400	0	2,730	5,130			5,362	
減価償却費	11,977	413	1,209	13,599	32,844	0	80	32,924			46,523	

(単位:千円)

科 目	実施事業等会計					その他会計				法人会計	内部取引控除	合計
	継1	継2	継3	小計		他1	他2	他3	小計			
	農場事業	研修所事業	酪農普及事業	農場事業	研究事業	チーム事業	キャピタル事業	TMRセンター事業				
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計												
(2) 経常外費用	0			0	0	0	600		600	1,249		1,849
支払利息							600		600			600
雑損失							0		0			0
固定資産処分損	3,400			3,400						1,249		3,400
経常外費用計	3,400	0	0	3,400	0	1,200	0	0	1,200	1,249	0	5,849
当期経常外増減額	-3,400	0	0	-3,400	0	-1,200	0	0	-1,200	-1,249	0	-5,849
他会計振替額	-7,260	-360	-6,600	-14,220		-53,746	0	-10,800	-64,546	78,766		0
当期一般正味財産増減額	-13,227	-5,222	3,237	-15,212		20,445	0	7,578	28,023	0	0	12,811